

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

大学カリキュラムポリシー

名古屋文理大学は立学の精神に基づき、教育方針「(1) 学問と技術の練磨 (2) 心身の強化 (3) 思索力の養成 (4) 品性の陶冶 (5) 正しい人生観の涵養(かんよう) (6) 信頼される日本人の育成」に従って、教育課程を編成しています。教育課程の履修を通じて、ディプロマポリシーに掲げる知識と能力を備えた人材を育成します。

上記の教育方針に則り、次のような教育目的のもとで、科目を配置します。

1. 各学部学科の専門教育科目において、学修した分野の専門家として社会に貢献できる知識と技術を修得する。
2. 基礎教育科目において、専門性を支え、広げることのできる基礎学力と基礎知識を修得する。
3. 各年次に設置するゼミナールにおいて、指導教員のもとで研究や演習を進めるとともに、コミュニケーション力を養成する。
4. 教養教育をおこない、専門家としての歴史観、人生観、倫理観、および使命感を含む総合的な人間力を養成する。
5. 基礎教育センターにおいて、日本語力、数的処理を中心に学修し大学で学ぶための基礎力を強化する。

健康生活学部カリキュラムポリシー

健康生活学部は「食と栄養」を柱とし、「栄養と健康」や「食とそれをとりまく生活・経済」の科目を中心とした教育課程を編成しています。教育課程は専門教育科目と基礎教育科目から構成され、専門教育科目では「食と栄養」、「栄養と健康」、「食と生活・経済」に関する両学科の特色となる科目を配置し、基礎教育科目では、人間と文化への理解、自然科学への理解、コミュニケーション技術や情報技術などを学ぶ科目を配置します。また教育課程の最終段階として、卒業演習や卒業研究を配置します。

健康生活学部健康栄養学科カリキュラムポリシー

健康栄養学科では、ディプロマポリシーに掲げる知識と能力を備えた人材を育成するために、次のようにカリキュラムを編成します。

1. 専門性を支え、広げるための基礎となる学力と知識を修得するための基礎教育科目と、管理栄養士養成課程としての専門教育科目（専門基礎分野・専門分野）を適切に配置する。
2. 専門基礎分野として、「社会・環境と健康」「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「食べ物と健康」の領域についての講義・実験を設置する。豊富な実験や実習を通して専門基礎の知識と技術を修得し、確実なものとする。
3. 専門分野として、「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「病態栄養学」「給食経営管理」の領域についての講義・実習を設置し、専門知識とそれを活用する実践力を身に付ける。さらに、身につけた実践力を「臨地実習」で確実なものとする。

4. 「卒業演習」「総合演習」等を通して、管理栄養士として求められる専門知識と技術を統合する能力を培い、管理栄養士国家試験に合格し、実社会に向かっての専門知識・実践力を集大成することを旨とする。

健康生活学部フードビジネス学科カリキュラムポリシー

フードビジネス学科では、ディプロマポリシーに掲げる知識と能力を備えた人材を育成するために、次のようにカリキュラムを編成します。

1. 大学生としての基礎学力と教養を高めるための基礎教育科目と、フードビジネスの各分野において即戦力となる人材となるための専門教育科目をバランスよく設ける。
2. 4年間の学びを体系的に捉えるための導入科目を初年次に置くとともに、幅広くフードビジネスを学ぶための専門教育科目を初年次から3年次に配置する。
3. 深い関心を持った分野を集中して学び、将来の進路へ繋げるために、特色ある科目から構成される食品メーカー、食品流通、フードサービスの3のコースを置く。
4. フードビジネスの各分野で活躍する実践力を養うため、上記3コースに配置する科目の一部を指定科目とする3つのマイスター〈商品開発マーケティング、食とデザイン、カフェ・レストランプロデュース〉に加え、語学科目などを指定科目とするマイスター〈海外ビジネス〉の認定制度を設ける。
5. 課題発見・問題解決力やチームで働く力を養成するために、アクティブラーニングやグループワークを取り入れた少人数のゼミナールや講義科目、講義科目と有機的につながる実習科目を置く。

情報メディア学部情報メディア学科カリキュラムポリシー

情報メディア学科では、ディプロマポリシーに掲げる知識と能力を備えた人材を育成するために、4つの専修コースを設け、次のようにカリキュラムを編成します。

1. 大学生としての基礎学力と教養を高めるための基礎教育科目と、情報メディアの各分野において即戦力となる人材を育成するための専門教育科目をバランスよく設ける。
2. 専門基礎科目を設置し、情報システムやメディアコンテンツ・メディア技術、メディアプランニング業務など多様な研究分野を知ることにより、情報メディアに関する基礎的知識を修得する。
3. 情報システム開発、映像コンテンツ制作、サウンド制作、メディアプランニングを目的とする各専修コースのカリキュラムに従って専門科目を設置する。コースや複合スキルを意識した学修の実践とキャリアデザインに即した専門知識を修得する。
4. 卒業研究・卒業制作を通して、情報システム技術者、映像や音響などメディアコンテンツ制作者や技術者、広報担当者・メディアプロデューサーなど、目標とするキャリアの実践力を身につける。